

平成 28 年度第 1 回加西市総合教育会議 会議録

- 1 開会日時 平成 28 年 5 月 23 日 (月) 13 時 00 分
- 2 閉会日時 同日 14 時 00 分
- 3 開催場所 加西市役所 5 階 大会議室
- 4 出席委員 市長 西村 和平
教育長 高橋 晴彦
教育長職務代理者 荒木 貴子
委員 渡邊 隆信
委員 内藤 堯雄
委員 多田 久子
- 5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
理事 須貝 正俊
ふるさと創造部長 西岡 義信
人口増政策課長 千石 剛
人口増政策課主任 小林 和敏
教育次長 達可 忠久
市参事 前田 政則
教育総務課長 中倉 建男
- 6 傍聴者 一般：なし、報道機関：1 名
- 7 協議事項
(1) 平成 28 年度教育施策の大綱の策定について
(2) 平成 28 年度教育の重点について
(3) その他
- 8 会議内容
別紙のとおり

【別紙】

1 市長あいさつ

2 教育長あいさつ

3 協議事項

- (1) 平成28年度教育施策の大綱の策定について
事務局より説明。

〔意見・質疑〕

市長 平成27年度教育大綱は、教育振興基本計画の概要で策定したが、今回提示の大綱案は、市長が作る意味を出すために、教育振興基本計画を尊重したうえで言葉など市民に分かりやすい表現とした。また、追加項目としては、風土記事業、ふるさと創造会議、認定こども園、歩くまちづくり条例の健幸都市、教育の重点にある「あいさつ運動」を組み入れたことである。

委員 市民に分かりやすい文章ということだが、市民への周知方法はどうかされるのか。

事務局 市ホームページ、広報かさいなどで周知を図ります。

委員 大綱についての評価の在り方はどう考えておられるのか。

市長 大綱は出来るだけ簡素で汎用性の高いものが良いと考えている。教育振興基本計画の内容をスライドさせているため、大綱での評価はせず、教育振興基本計画で従来通りの評価で良いと考えている。

委員 基本方針2・3・5に関連するが、風土記事業のようなユニークな取組と同じレベルで、多文化や国際交流を推進して欲しい。また、基本方針2で「自ら考える習慣」ではなく、「自ら考え、学ぶ習慣」の方がいいのではないか。

事務局 「自ら学ぶ習慣」に関しては、内部で再考する。

委員 ふるさと創造会議など教育振興基本計画と融合して良いと感じた。基本方針3で「他者も自分も」を「自分も他者も」に順番を変えた方が良い。

事務局 修正対応とする。

教育長 基本方針1(2)のSTARTプログラムは、言葉の意味が分かりにくいので注釈を入れてはどうか。教育振興基本計画では用語集で記載している。

事務局 方法を内部で再考する。

委員 (以下のとおり指摘あり)

- ・基本理念の文章のかかる位置が分かりにくい。2つの事を1つの文章で表現しているので無理があると思われる。
- ・基本方針の書き方の共通点として、主体が「市」「子ども」と混在しているので統一すべき。
- ・基本方針3(2)の「・・・感謝など」までと「自尊感情」はイコールではな

い。

・基本方針6（4）の「・・・大切さ」までと、「得た知識・・・を育てるため」のつながりがわかりにくい。

・基本方針5（3）の「郷土愛を醸成」することは大変重要だと思われるが、「郷土愛」＝（イコール）「帰ってくる」かどうか。ここに「帰ってくる」を記載する必要があるのか。

事務局 ご指摘事項は、事務局で再考する。

委員 基本理念で「すべてで創り上げる」と言い切ってしまうのは、強制的な印象がある。

市長 主体性がある言葉として「創り上げる」という表現にした。

事務局 事務局で再考する。

事務局 大綱は市長が策定するとなっているので、本日いただいたご意見やご提案を基に再考し、見直しを図ってまいります。

（2）平成28年度教育の重点について
事務局より報告。

[意見・質疑なし]

（3）その他
特になし

4 閉会